

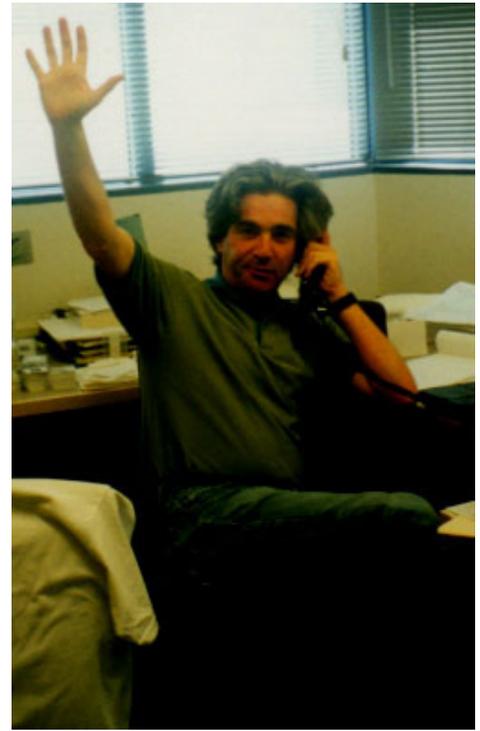
海洋生命・分子工学 セミナー

講師： Michael Levine 教授

(University of California)

とき： 10月2日 9時30分(予定)

ところ： 総合研究棟 2階, 会議室 1



Mike Levineさんは、1980年代にスイスのWalter Gehring研究室に留学し、ホメオボックス遺伝子の発見に貢献しました。その後コロンビア大学、のちカリフォルニア大学サンディエゴ校に職を得て、ショウジョウバエを用いた転写調節研究を行いました。

代表的な研究は

(1) Antennapedia がDNAに結合する転写調節因子であることの証明

(2) 組織特異的遺伝子発現を調節する転写抑制の重要性の証明。

～ *even-skipped (eve)* 遺伝子の stripe 2 エンハンサーや神経外胚葉特異的エンハンサー (NEE) の転写調節機構の研究 ～

(3) Dorsal タンパクの濃度勾配の証明

(4) エンハンサーの機能を制限するインシュレーターの働き方の研究

など多数あります。知らない人は『細胞の分子生物学』を読み、また藤原担当の「細胞工学」のwebテキストを見てください。

1990年代にはホヤの研究も始め、脊索特異的な遺伝子発現、組織特異的なエンハンサーの網羅的同定、心臓分化のメカニズム、ホヤゲノム解読などで重要な貢献をしました。1996年からはカリフォルニア大学バークレー校に移動し、1998年からはアメリカ科学アカデミー会員です。

忙しい人です。このポスター作成中の今も旅行中だとかで、ろくに連絡がとれません。当日何の話題が飛び出すか、来てのお楽しみです。レクチャーはもちろん英語ですが、ゆっくり話してくれるはずです。質問もきちんと聞いてくれます。院生はもちろん若い学生さんも、積極的に質問などしてください。

お問い合わせは、理学部応用理学科・藤原 (tatataa@kochi-u.ac.jp) まで